

小野真由美の縄文世界

わたしは土産(つちう)み・縄文土器を産む

私は土産(つちう)み 縄文土器を産む

大地の中にある 命の記憶の旋律を
指先で辿り 縄文土器とお話をする
命が燃える 私の中で
命が燃える 縄文土器の中で
文様を走り 揺らめきの中
風をまとい 渦の中で結ばれる
愛しい世界
ドクンドクンと波打つ 鼓動の中で
私の身体の細胞が
目には見えないけど
確かにあるものを思い出す

森の記憶 光り輝く命の記憶が
私の生きていると呼応して
温かな血が
私達の中にある事を
思い出させてくれます
森の木々が 地上では
別々に立っているながら
地下ではひかりの根っこで
深く繋がっているように
私達もまた ひかりの世界で
繋がっています

縄文土器は森からやってくる
命の記憶を携えて

(小野真由美)



【小野真由美プロフィール】

岡山県生まれ
縄文土器作家
2015年春の縄文野焼きで
大地と炎の子宮を目の前にして、縄文に
目覚め、魂の声 思いを
実現する為猪風来の教えを
受けながらひたすら
作り続ける。
2018年に 猪風来美術館で
初の個展「小野真由美
縄文土器展 大好きな縄文」開催。
現在 大山・岡山を拠点に
創作活動・個展・縄文煮炊きを
行っている。

ギャラリートーク

6月7日(日)午後1時30分～
(企画展示室にて)

会期 2026年 6月2日(火)～8月30日(日)

小野真由美が縄文の道に足をふみ入れてから11年になる。2015年の春の縄文野焼き祭りでの感動を契機に土器作りを学びはじめ、以来ひたすらに縄文道をひた走る。古来の縄文土器の模写を通じて縄文の心と技を体得しつつ、縄文時代の女たちと対話しながらその息遣いに感応する能力を獲得していった。そして大地に生きる草木と対話し、土と融合し、己の身体の奥底から湧きあがるものを形にして“縄文土器を産む”と彼女は言う。母なる大地が生み出したすべての命の輝きと共振する作品たち、今を生きる女性縄文作家が産み出した新縄文スタイルの作品たちをどうぞ高覧ください。(猪風来)

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館し翌日休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609
TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

日本唯一の現代縄文美術館。
縄文造形家の猪風来(いふうらい)
と村上原野の縄文野焼き作品の
代表作など200点以上常設展示。
生命と魂の縄文スパイラルアートを
現在直下で展覧しています。

